

皆さま、こんにちは。
アールラーニングの吉政と申します。

東北地方太平洋沖地震により

被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。
お亡くなりになられました多くの皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに
一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

アールラーニングとしてできることを行いたく、義援金の呼びかけ、節電、
そして業務を再開致します。

このような時期で恐縮でございますが、メールマガジンを発行いたします。
皆さま、今後とも宜しく願います。

/// INDEX //////////////////////////////////////

[News & Topics]

- ・東北地方太平洋沖地震による3月16日以降の本社業務について
- ・Rails技術者認定試験運営委員会【Appendix】を公開
- ・Rails技術者認定ブロンズ二次ベータ試験の結果を公開
- ・Androidアプリケーションの開発事例とソリューションのページを公開
- ・[金子ブログ]「People behind Web」
会社員になる方々へ腑に落ちるならば意識して欲しい1つのこと

[Rails Hubホットトピック]

- 【新着記事】Ruby on Rails3で学ぶWeb開発のキホン (2)
- 【ブログ】Rails Hub情報局「Ruby技術者認定試験シルバーを受けてみた」

[コラム]

【masuidriveコラム】
震災とソーシャルメディア

【技術コラム】
加速度センサーを利用した自社Androidアプリ『鮭 Shake』をリリース！！

//// News & Topics //////////////////////////////////////

- ◆東北地方太平洋沖地震への義援金支援をお願いいたします
原文⇒<http://www.r-learning.co.jp/news/20110311/>
- ◆Rails技術者認定試験運営委員会【Appendix】を公開
詳細⇒<http://www.r-learning.co.jp/service/railsjsp/>

[コメント]

Rails技術者認定試験認定スクール向けのページとして公開しましたが、
過去のベータ試験の結果など、受験予定者にとって参考になる情報も
多く掲載しています。Rails技術者認定試験に興味がある方は是非参考になさ
ってください。(吉政)

- ◆ Rails技術者認定ブロンズ二次ベータ試験の結果を公開
原文⇒<http://bit.ly/erjxMo>

[コメント]

一次ベータ試験は難易度調整が合わず、合格率が12.5%でしたが、一次ベータ
で頂いた意見を反映し、二次ベータ試験では合格率を50%まで引き上げること
ができました。ブロンズ試験としては、かなり低めの合格率ですが、教材や
模擬問題を公開していない時点での合格率ですので、現時点では適度な合格
ページ(1)

であると考えています。(吉政)

- ◆ Androidアプリケーションの開発事例とソリューションのページを公開
詳細⇒<http://www.r-learning.co.jp/service/android/>

[コメント]

大手メーカー様の事例をはじめとしてAndroidアプリケーションの開発事例を掲載しています。金額までは掲載できていませんが、笑顔で納得頂けるお見積りを出すことができると思います。Android関連の案件がありましたら、是非お気軽にお問合せください。(吉政)

- ◆ アイティメディア・オルタナティブブログ「People behind Web」(金子著)
[新着]会社員になる方々へ腑に落ちるならば意識して欲しい1つのこと
原文⇒<http://blogs.itmedia.co.jp/kaneko/2011/03/post-bdb1.html>

//// Rails Hubホットピック //////////////////////////////////////

- ◆ 【新着記事】Ruby on Rails3で学ぶWeb開発のキホン (2)

⇒ <http://bit.ly/f9IhPp>

- ◆ 【ブログ】Rails Hub情報局 「Ruby技術者認定試験シルバーを受けてみた」

- * Ruby技術者認定試験シルバーを受けてみた
- * サービスの時代が来た! と思ったサービス「Copycopter」
- * Rails3認定ブロンズ、一次ベータ試験の合格率は12.5%
- * Rails開発者ら、JavaScriptフレームワーク「Cinco」を発表

⇒ <http://bit.ly/euyzoV>

[コメント]

Rails技術者認定試験運営委員会のメンバーである西村副編集長がRuby技術者認定試験シルバーに合格されました。試験を受ける意味合いについて書いて頂いています。(吉政)

//// コラム //////////////////////////////////////

【masuidrive コラム】震災とソーシャルメディア

+.....+
初めまして、今回からスマートフォンやRuby on Railsなど
ホットな話題をお届けする、このコラムを担当させて頂くことになりました、
masuidriveこと増井 雄一郎と申します。
初回なので、まずは自己紹介から始めさせて頂きます。

現在は、米Appcelerator, Inc(<http://appcelerator.com>)にて
Platform Evangelistをという仕事をしています。
この職種は聞き慣れないと思いますが
Evangelistは宣教師の事で、IT業界では自社の製品を広めるための活動を行う
職種を指します。
講演会や勉強会などで製品や業界についての紹介をして
興味を持って貰ったり、より詳しく知って貰うことが主な業務です。
技術営業に近いかも知れません。
そもそも個人的興味として、Web/スマートフォン業界の新しいネタを
調べるのが大好きな私にとってはうってつけの仕事と言えます。

現在の会社に入ったいきさつなどを書くとな非常に長くなってしまいますので
もしご興味のある方は、下記のインタビューを参照していただけると幸いです。

<http://bit.ly/hVJ1XE>

2011年3月11日午後、未曾有の大地震、「東北地方太平洋沖地震」が起こりました。
被害にあわれた方々への心からのお見舞い申し上げます。
私は地震の瞬間、東京の自宅でシャワーを浴びていまして、
逃げ道を確認するため、裸で扉を開けに走り出しました。
幸い、自分や家族には、特に被害も無くその後はテレビや
ページ(2)

Twitterで情報収集をし、この地震が想像以上に大きく信じられないほどの被害を生んでいること知りました。

あまりの出来事に呆然としてしまい、ただただTVやネットを見て1日ほど過ごしていたのですが、会社の方から「何か私たちに貢献できることはないのか」という問いかけがあり、初めてIT業界にいる私たちに何が出来るか考えて行動すべきでは無いかと言うことに気がつきました。

ネットを見回してみると、携帯の通話やメールが通じにくい中、FacebookやTwitterと言ったソーシャルメディアが広く活用されていました。Googleでは消息情報を提供するパーソンファインダーというサービスを開発・提供し、有志の手に寄って避難所の名簿の写真から情報入力が1日10万件単位で行われています。またJAWS-UGというグループでは、災害復興支援としてAmazon Web Serviceを使い、ネットでの情報提供の技術支援などを24時間通じて行うなど、IT業界がそれぞれの強みを生かして、その状況に対し、どのように貢献出来るかを考えて、活動していることに非常に感銘を受けました。今までインターネットと長く関わってきていますが、こんなに多くの人々が一致団結して行動を起こしているのを初めて感じました。

私達も世界のTitanium Mobileの開発者と共に何が出来るかを考え、始めにスマートフォンを通じた情報提供アプリのリリースを行うことにしました。このメルマガが発行されている頃にはAndroid/iPhoneでダウンロード可能になっていると思います。ご興味がありましたら「アイドリ」で検索してみてください。

今回の震災はIT業界にとっても大きな転換期になると思います。私たちがITを使って、どのように世の中に貢献していけるのか深く考えて活動していく必要性を深く感じています。

(masuidriveこと増井 雄一郎)

【技術コラム】

加速度センサーを利用した自社Androidアプリ『鮭 Shake』をリリース！！
+.....+
当社では昨年の夏ごろより大手メーカー様のAndroidスマートフォン端末の組み込み開発に参画し、秋ごろよりアプリの受託開発を開始しております。

このような当社の現在のAndroid事業のきっかけになったのが『鮭 - Shake』です。一昨年の冬頃より社員のAndroid理解とノウハウ構築を目的に着手したのですが、当初はWEB上の技術情報も少なく、開発は試行錯誤の連続でだいぶ苦労しました。
<https://market.android.com/details?id=r.l.taskchanger>

当社技術ブログでは『鮭 Shake』で使用している加速度センサーを使う際のポイントについて解説をしています。今後はAndroidの技術トピックだけでなく新製品情報などについても書いていく予定です。ぜひ一度ご覧になってください。

<http://blog.r-learning.co.jp/>

編 | 集 | 後 | 記

震災当日は六本木にいました。私は大きなビルにいたので、落ち着いていられたのですが、高速道路が横にずれる瞬間や人々が歩道から車道に飛び出していく姿、泣いている女性などを目の当たりにして、東京で体験するレベルでもとても恐ろしかったです。被災地の状況をTVで見ると本当に胸が痛みます。この苦難を日本全体で力を合わせて乗り越えたいと思います。日本は第二次世界大戦など、今までも国家の危機を何度も乗り越えて、そのたびに強くなってきたのだらうと思います。この苦難を共に乗り越えて素晴らしい日本を創っていきたいです。
(吉政)

—◇読者の皆様へ◇—
本メールマガジンは情報共有の推進を目的としております。宜しければ、社内
ページ(3)

007号

他のの方が閲覧できる社内掲示板や関係各所へのご転送をお願いいたします。

—◇本メールマガジンの登録解除方法◇—

このメールに対する登録解除は★そのまま返信★でその旨をお伝えください。

本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法

このメールマガジンに★そのまま返信★で下記の項目をCut & Pasteして項目を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先：

- (1) メールアドレス：
- (2) 氏名：
- (3) 会社名：
- (4) 部署名：
- (5) 役職名：

■ ■ ■ ■ ■		アールラーニング・メールマガジン「R-Times」
■ ■ ■ ■ ■		発行人：株式会社アールラーニング
■ ■ ■ ■ ■		取締役兼サービス戦略室長 金子 憲太郎
■ ■ ■ ■ ■		編集人：マーケティングアドバイザー 吉政 忠志
■ ■ ■ ■ ■		Mail : r-times@r-learning.co.jp
■ ■ ■ ■ ■		(c) R-Learning Co., Ltd. All Rights Reserved.